

平成 17 年 5 月 12 日

各 位

東京都渋谷区道玄坂一丁目14番6号
アルファグループ株式会社
代表取締役会長 吉岡伸一郎
(コード番号: 3322)

問い合わせ先 取締役情報開示担当
尾崎昌宏

電話番号 03-5728-5500 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 3 月 1 日に実施いたしました子会社の営業の譲受けおよび最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 2 月 14 日の第 3 四半期決算発表時に公表しました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の連結業績予想及び平成 16 年 11 月 24 日中間決算短信発表時に公表しました個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

1. 概要

連結経常利益は、営業権譲受による費用も吸収し従来予想どおり 705 百万円(前年同期比 40.7%増)で過去最高益となる見込みです。

理由としましては、主力の携帯電話販売台数が設立以来初の年間 30 万台を突破し好調であったこと、また下期から本格的に開始したコールセンター等のその他事業が当初計画より大きく上回り収益拡大に寄与したことが挙げられます。カウネット事業においては新規獲得コストの見直しによるコスト削減の効果もありました。

また、個別業績に関しましても、経常利益 649 百万円(前年同期比 90.9%増)及び当期純利益 347 百万円(前年同期比 81.6%増)と大幅な修正となり、同様に過去最高益となる見込みです。

2. (1)平成 17 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
2/14 付発表予想(A)	9,440	705	396
今回修正予想(B)	8,686	705	370
増減額(B-A)	753	0	25
増減率	8.0%	0.1%	6.6%
前期実績(平成 16 年 3 月期)	7,325	501	282
対前期増減率	18.6%	40.7%	31.1%

(2)平成 17 年 3 月期 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
11/24 付発表予想(A)	6,865	420	233
今回修正予想(B)	5,698	649	347
増減額(B-A)	1,166	229	114
増減率	17.0%	54.7%	49.0%
前期実績(平成 16 年 3 月期)	5,467	340	191
対前期増減率	4.2%	90.9%	81.6%

3. 修正の理由

(1) 個別業績予想数値修正の理由

売上高につきましては、日本テレコム「おとくライン」の販売業務を開始したことによる売上は増加しましたが、モバイルビジネス部門の販売代理店へ支払う手数料控除後の1台あたり売上単価が減少したこと、またカウネット部門の新規顧客獲得活動を上期大幅に縮小し、既存顧客に対するフォローに専念したことが要因となり前回発表より減少しました。

経常利益につきましては、モバイルビジネス部門におきましても来期以降の事業展開の為、営業の譲受けを行いこの営業権では50百万円が発生しました。これを3年間で償却すること、本年度16百万円を営業外費用に計上しましたが、モバイルビジネス部門の移動体通信端末の販売台数が目標数値を上回る年間30万台を突破したこと、カウネット部門の新規獲得縮小により獲得コストが減少したこと、日本テレコム「おとくライン」の販売業務が当初計画より上回ったことにより、経常利益は649百万円(前年同期比90.9%増)となる見込みです。

当期純利益は、固定資産売却損13百万円発生により、347百万円(前年同期比81.6%増)となる見込みです。

(2) 連結業績予想数値修正の理由

カウネット部門代理店事業への多面展開を図るべく、当社100%子会社として株式会社アルファライズを設立し、平成17年2月28日に発表したとおり事業強化の為、営業譲受けを行い、これに伴って営業権が261百万円発生しました。これに上記のモバイルビジネス部門営業譲受けの営業権50百万円との合計312百万円を3年間で償却することとし、本年度104百万円を営業外費用に計上しました。その一方でモバイルビジネス部門の移動体通信端末の販売台数が目標数値を上回る30万台を突破したこと、カウネット部門の新規獲得縮小により獲得コストが減少したこと、日本テレコム「おとくライン」の販売業務が当初計画より上回ったことなどにより、経常利益は計画どおりの705百万円(前年同期比40.9%増)となる見込みです。

当期純利益は、固定資産売却損等および法人税等増加により、370百万円(前年同期比31.1%増)となる見込みです。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき予想したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの予想値と異なる場合がありえることをご承知おき願います。